

保護者等向け

児童発達支援評価表

アシストⅢ

記入年月日：令和 2年 3月10日

配布 2 回収 2 回収率 100.0%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2					・子どものことを理解してもらえると感じます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※iになっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2					
適切な 支援 の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※iiが作成されているか	2					・ニーズに対して、短期・長期に分けた目標設定があるので、子どもの行動の振り返りがしやすくなった。今の課題が分かりやすく、また、次の課題を立てやすくなった。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1			1		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1				1	
	8 活動プログラム※iiiが固定化しないよう工夫されているか	2					・就学や本人の意思、やる気に合わせて組んでもらえていると感じます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1				1	・保育園に通園している。
保護 者 へ の	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					・不明な点は、その都度、きちんと説明がありました。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	2					

説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※iv等）が行われているか	1		1			
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2					・とても丁寧に対応して頂いています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか			2			・入所したバリなので・・・
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1				
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2					・家庭の状況も含めて支援して頂いていると思います。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか			1		1	・まだ入所したばかりなので。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2					
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2					・毎週とても楽しみにしています。 ・とても楽しみにしています。工作した作品を見せてくれたりすることで、親子の会話も増えました。
	23	事業所の支援に満足しているか	2					

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等にに応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....  
(保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

アシストⅢ

令和 2年 3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		・居室が一つのため、お昼寝等をした場合には、遊んでいる部屋と一緒にってしまう。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1		・人員的配置はあっているが、利用者の特性上、大変だなあと感じる時がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	3		・建物の構造上、バリアフリー化ができていない。（居室が2階にあるため）出来る範囲で工夫をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1	3		・低年齢の子、身体が小さい子には、高さが合わない部分もある。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		・保護者の意見を取り入れて、改善できるところは改善を行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		・HPと名古屋市すてっぷサポートにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4		・外部評価は、現在受けていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			・月1回チームに分けて研修を職場内で行っている。定期的に外部研修にも参加している。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4			・面談でアセスメントの聞き取りを行いながら、本児の発達状況を確認し作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			・法人内でアセスメントツールを活用出来ており、発達段階を知るのに役立っている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		・ケース会議でみんなの意見を取り入れて作成している。 ・打合せを必ずしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		・季節に応じて様々な活動をしている。 ・曜日で活動内容を固定しないようにしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4		・同じ活動でも利用者の発達段階に合わせて活動を行い、個別での支援も行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		・平日のAMにスタッフで打ち合わせを行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		・気になったことは、その日のうちに、他は、次の日のAMに行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1	・困ったこと・パニック・ヒヤリハット・てんかん発作の記録等は細かく記載している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		・6か月に1度、モニタリングを行い、見直しを行っている。変更があった時には、その都度行う場合もある。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		・担当者会議が開催できていない。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	1	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4		・医療的ケア児がいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	1	・医療的ケア児がいない。てんかんを患っている方は、情報を共有している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	3	・お迎えで保育所等に行く事がなく、日々の情報共有していない。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	3	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	・研修等がある場合には、受けるように努めている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	・公園等で、一緒に遊ぶことがある。

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	・自立支援連絡協議会の子ども部会がない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	3	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		・助言はするが、ペアレント・トレーニング等をする実力がまだない。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	1	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	・全員参加ではないが、スタッフと話す機会はある。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		・年に1回お祭りが、他事業所と一緒に行われている。
	非常時等の	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	1
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4		
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		

対 応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4			

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

保護者等向け

放課後等デイサービス評価表

アシストⅢ

記入年月日：令和 2年 3月10日

配布 20 回収 12 回収率 60.0%

	チェック項目	評価					ご意見
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12					・施設内、近くの公園、良いと思う。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11			1		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	3		3		・あまり室内を見ていないので。
適切 な 支 援 の 提 供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	12					
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	10			1	1	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	1	7		・それがどのように利点があるのか不明。配慮・理解が不十分なら不要。
保 護 者 へ の 説 明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1		1		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	2				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1		1		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	5	1	6		・前に1回参加したけどまだ、1回なので何とも言えない。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			4		・苦情出たことは、お聞きしたことが無いので、制入りある対応、ご指導をいただいていると思います。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2	1	1		
	14 個人情報に十分注意しているか	9			3		
非 常 時 等	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	1	1	1		・緊急時対応等、説明は受けましたが、マニュアル作成して頂いていることは、知りませんでした。



の 対 応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10			2	
	満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11	1		
		18	事業所の支援に満足しているか	12			

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメント

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

アシストⅢ

和 2年 3月10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	3	・勉強のスペースと遊びのスペースが確保できていないので、同じ空間で行っている。 ・勉強のスペースと遊びのスペースが確保できていないので同じ空間で行っている。 ・戸外活動などを積極的に取り入れて発散している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4	・事業所が2階にある。部屋に入室すればバリアフリー。 ・足が不自由な子には、少し難しい造り ・階段だけしかないなので、入り口が改善されると、階段上りづらい子は便利になるのかなあ。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		・アンケートを活用し、改善できるところから改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		・HPと名古屋市すてっぷサポートにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	・外部評価は、現在受けていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		・月1回チームに分けて研修を職場内で行っている。定期的に外部研修にも参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		・面談でアセスメントの聞き取りを行いながら、本児の発達状況を確認し作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		・法人内でアセスメントツールを活用出来ており、発達段階を知るのに役立っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		・ケース会議でみんなの意見を取り入れて作成している。 ・打合せを必ずしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		・活動はローテーションで組んでいる。子ども達が為支援の活動を組み込んでいる。 ・不安な時はスタッフ間で相談をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2	・平日、休日、長期休暇に分けて、子ども達のため占める活動を組み込んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		・その子のできるレベルに合わせて、活動の中で工夫して提供している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		・平日のAMにスタッフで打ち合わせを行っている。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		・気になったことは、その日のうちに、他は、次の日のAMに行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1	・困ったこと・パニック・ヒヤリハット・てんかん発作の記録等は細かく記載している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1	・6か月に1度、モニタリングを行い、見直しを行っている。変更があった時には、その都度行う場合もある。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1	・担当者会議が開催できていない。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4		・月ごとに予定表を保護者から頂いている。学校によってはお手紙を送迎時に頂いている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1	・医療的ケア児がない。てんかんを患っている方は、情報を共有している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	・法人内では、連絡を密に取っている。 ・下には伝わってこない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	・小学部の事業所なので、担当児がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	・担当児がない。今年度は、研修に参加していない。 ・受けている人もいるかもしれないが分からない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	・児童館へ遊びに行くこともあるが、交流と言うより同じ空間で楽しんでいる。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	・担当者が法人内にはいるが、事業所内にはいない為参加をしていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1	・連絡帳や変わったことがあれば、その都度、情報を共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	・助言はするが、ペアレント・トレーニング等をする実力がまだない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		・契約時に説明。その都度、質問があれば答えている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		・相談があった場合には、その都度助言をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	・茶話会を通じて、保護者同士がラインの交換等をしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		・今年度は苦情は1件もありませんでした。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	・スタッフの配置が変わった時には、紙面にて配布。他は、HPにて発信。
	35	個人情報に十分注意しているか	4		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		・事業所単位で行う時には、交流はないが、法人ではお祭り等を地域の方と行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		・職人には、会議時に振り返りや変更点を話している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2	・毎月、避難訓練を行っている。 ・感染症の対策、嘔吐物の処理は、もっと気にしてもいいかなと思う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		・さまざまな災害を想定し、訓練している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	2	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		・該当児がない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	